



Taka Ishii

Gallery

Kyoto

483 Nishigawa-cho Shimogyo-ku Kyoto
#600-8325, Japan

tel 075 353 9807

fax 075 353 9808

web www.takaishiigallery.com

email kyoto@takaishiigallery.com

ボスコ・ソーディ「色見えで」

会期*:2012年4月13日(金)–5月26日(土)

会場:タカ・イシイギャラリー京都 gallery 1 (同時開催:gallery 2 村瀬恭子「億光年の先で待っている」展)

オープニングレセプション:4月13日(金)18-20時 タカ・イシイギャラリー京都

*4月29日(日)はアート京都会期中のため11:00から19:00まで特別開廊いたします。

会期中の日・月・祝日と5月3日(木)から5月8日(火)の6日間は休廊させていただきます。

タカ・イシイギャラリー京都は4月13日(金)より5月26日(土)まで、ニューヨーク、バルセロナ、ベルリン、メキシコを拠点に活動するアーティスト、ボスコ・ソーディの個展「色見えで」を開催いたします。1970年にメキシコで生まれたソーディは、ブロンクス美術館(2010年、ニューヨーク)やピースギャラリー(2011年、ニューヨーク)で個展を開催するなど国際的に活躍しています。本展では、ソーディの代表作として知られる有機素材を用いたペインティング作品6点を展示いたします。今回の展覧会に寄せて、ソーディは小野小町の和歌とアーサー・ウェイリーによるその訳詞を引用し、次のように述べています。

色見えで

A thing which fades

移ろふものは

With no outward sign--

世の中の

Is the flower

人のこころの

Of the heart of man

花にぞありける

In this world !

小野小町

Onono Komachi (アーサー・ウェイリー訳)

本展において、私はサクラの花を生命のはかなさの象徴としてとらえ、サクラが思い起こさせるいずれは死を迎える我々の運命、そしてそこから生じる慈愛の心を提示したいと思います。

今回の薄いピンク色の一連のペインティング作品に、私は感光性の顔料を用いました。月日が経つにつれこの顔料の色は次第に薄まり、最終的には完全な白になります。こうしてサクラの花を生象徴に昇華させ、私は「一生における時間は、無駄にするにはあまりにも短い」という深い真実を強調したいのです。

ボスコ・ソーディ

人知の及ばない自然、つまり有機素材に多大な関心を持つソーディは、おがくず、木材パルプ、天然繊維などの素材と純度の高い顔料、接着剤や水などを混ぜ合わせ、まるでこの素材と対話をするかのように、水平に置いたキャンバスの上に素手で制作を行います。作品は数日間に及ぶ身体的な制作方法と、ソーディ自身も予測できない有機素材の変化によって形作られていきます。素材が乾燥していく過程において、大小のひび割れが生じ、テクスチャーと色が変化を遂げ、ソーディ作品固有の空間が現れます。顔料は表

面だけではなく素材に浸透し混ざり合うことで、有機素材つまり自然が内在する生命感あふれるエネルギーは具体化し、作品は圧倒的な存在感を放ちます。ボスコ・ソーディの最新作を是非この機会にご高覧ください。

本展はYoshii Gallery（ニューヨーク）との共同企画展です。

オープニング・レセプションに合わせて作家がニューヨークより来日いたします。ご多忙の折とは存じますが、初日のレセプションには是非ご参加ください。

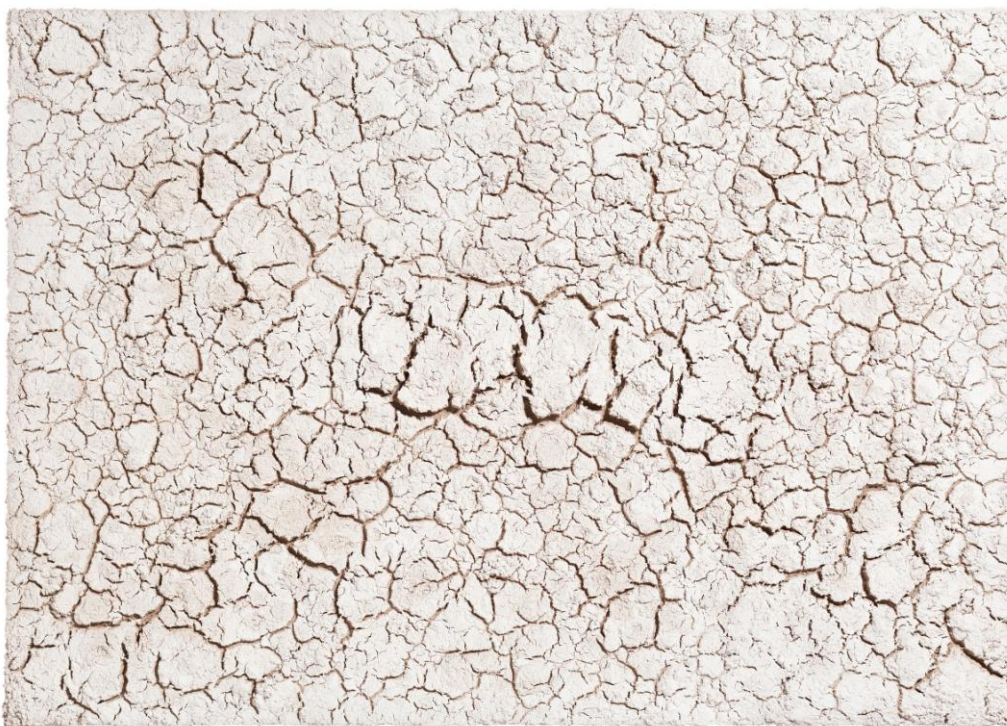
是非、貴誌・貴社にて御紹介下さいますよう宜しくお願い致します。尚、掲載用写真の貸出など、御質問がございましたら下記までお問い合わせ下さいませ。

タカ・イシイギャラリー京都 / 安丸順子

www.takaishiigallery.com e-mail : kyoto@takaishiigallery.com

〒600-8325 京都市下京区西側町 483 tel: 075-353-9807 fax: 075-353-9808

営業時間: 11:00-19:00 定休日: 日・月・祝祭日



Untitled, 2012

Mixed media on canvas

200 x 280 cm

Courtesy of Yoshii Gallery, New York / Photo: Keven Kunstadt, New York.